

全国都道府県対抗 女子駅伝大会で岩美町をPR

1月15日（日）西京極総合運動公園陸上競技場を出发～ゴール地点とする「皇后盃第30回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会」が開催されました。

会場周辺には、全国各地の19県がそれぞれ自慢の特産を販売する「ふるさと屋台村」を出展しそれぞれの県をPRし大会を盛り上げました。



in京都

鳥取県も京都鳥取県友会（会長：加嶋 敬氏（岩美町出身））が初めて出展し、“大山おこわ”と“かに汁”のセットを販売しました。

かに汁は、岩美町で水揚げされた親がにを生きたままの新鮮な状態で直送し、その場で調理してお客様に味わっていただきました。

「生の親がにはめったにお目にかからない」という京都の方々からは、「かにのだしが効いて美味しい」と大好評で、屋台は長蛇の列ができ昼前にはあっという間に完売しました。その後も噂を聞きつけたお客様が引切り無しに来店されるほど大盛況でした。

販売中に岩美町のチラシ・パンフレットをかに汁と併せて配布し、岩美町のPRを行いました。



駅伝終了後には、県選手団一行にも温かいかに汁とおこわを振る舞い、疲れを癒していただきました。

また、翌日の京都新聞には多くの屋台出展の中で、鳥取県の岩美町産かに汁と大山おこわが記事になり、「岩美町のかに」をより多くの方に知っていただくことが出来ました。

今後も各種イベントに参加し、岩美町の魅力をPRしていきたいと思っております。

